



01. シドニー日本人学校にて、子どもたちを前に「地球人講座」を行う野口さん。
02. 真剣な眼差しで、野口さんのお話

聞き入る子どもたち。03. Pymble Ladies' Collegeにて。高校生の皆さんも、生き生きとした様子で質問していました。

「地球人講座 in シドニー」を開催

2003年度より、公益財団法人JAL財団とJALが連携して行ってきたプログラム

「地球人講座」が、今年22回目を迎えました。

今回は、その開催の様子と、今後の活動についてレポートします。

私たちが大切に考える4つの分野 ▶ 〈日本と世界を結ぶ〉 〈安全・安心〉 〈次世代育成〉 〈環境〉

「地球人講座」を通して
国際的な視野を育む

地球規模で考え、そして行動できる人材の育成を目的として、JAL財団とJALが取り組む「地球人育成プログラム」。第一線で活躍する講師による「地球人講座」の開催やインターンシップ事業などを通して、国際交流と相互理解を促進しています。

今年の2月24日には、シドニーにて「地球人講座」を開催。第22回となる今回は、宇宙航空研究開発機構（JAXA）所属の宇宙飛行士・野口聡一さんをお招きし、現地の日本人学校、Pymble Ladies' College、日本人会の3カ所で講演を行っていただきました。

日本人学校では約300名を対象として「宇宙へおいでよ」をテーマに、Pymble Ladies' Collegeでは、約750名を対象として「持続可能な宇宙への協働」をテーマに、日本人会では約100名を対象として「アジア太平洋地域における宇宙飛行士の国際協力」をテーマに、日本語、英語でお話しくださいました。

1セッションには、最高で何人乗れますか「宇宙では一日に日の出を16回見られることについて知りたい」などのたくさん質問が飛び出しましたが、その一つ一つに丁寧に答えていただき、参加者に大きな感動と学びを与えてくださいました。

子どもたちのハイクが繋ぐ
国際交流と異文化理解

JAL財団では、今回の「地球人講座」に続き、世界の子どもたちの国際交流、そして文化理解を深めるために「世界子どもハイクコンテスト」を開催しています。日本を含む世界各地の子どもたちがハイク（俳句）を学ぶことで、日本文化を理解するだけでなく、創作を通して感性を養うことを目的に、1年おきに実施するコンテストです。毎回、世界中の子どもたちより、各国語による三行詩（ハイク）と絵で構成された多くの作品が寄せられます。過去入賞作品をJAL財団のウェブサイトに掲載していますので、感性豊かな作品の数々をぜひご覧ください。これまで52の国・地域から68万を超える



©NASA/GCTC

JAXA宇宙飛行士の野口さん。2014年9月には、アジア初となる宇宙探検家協会の会長に選ばれました。

それぞれの講演では、2005年にスペースシャトル「ディスカバリー号」によるSTS-114ミッションで船外活動をされた様子や、2009年から2010年にかけての約5カ月半、国際宇宙ステーションに滞在し、「きぼう」日本実験棟のロボットアームの子アーム取り付けや実験運用をされた経験を、映像を交えてお話しくださいました。また、宇宙の魅力や宇宙における国際協力のお話、宇宙飛行士になるための資質やNASAの最新ニュースの数々を語ってください、会場の誰もが聞き入りました。

講演後の質問コーナーでは、「宇宙について知りたいことはありますか」「宇宙から帰ってきた時、体の感覚はどんな感じですか」「国際宇宙ステーションの作品が寄せられています。JAL財団とJALは、今後も連携して、国際交流と相互理解を促進する公共事業を行ってまいります。

第15回「世界子どもハイクコンテスト 日本大会」作品募集のお知らせ

第15回コンテスト(2017~18年)は「いきもの」がテーマです。奮ってご応募ください。

- 【応募要領】
- 対象：15歳以下の子ども（小・中学生・就学前の幼児も可）
 - 応募締切：2017年9月30日（必着）
 - 発表：2018年1月 JAL財団のウェブサイトにて発表します。
 - 賞：大賞・入賞 受賞者には、賞状と賞品を贈呈。大賞・入賞全作品は、JAL財団のウェブサイトに掲載されます。

詳細はJAL財団のウェブサイトをご覧ください。
www.jal-foundation.or.jp/contest.html



優秀作品は単行本「地球歳時記 第15巻『いきものうた』」（ブロンズ新社刊）として出版されます。
※写真は昨年発行の第14巻です。



2015年9月、全国連加盟国(193カ国)により「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」が採択されました。2030年までに、貧困や気候変動、平和的な社会などの17の目標を達成すべく、JALグループも社会課題の解決に取り組んでいきます。

今回のテーマに当てはまる目標



■私たちが取り組むCSR活動に関する詳細は、こちらでもご覧いただけます。

www.jal.com/ja/csr/